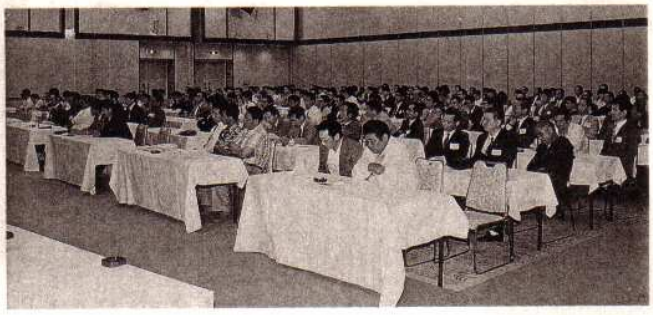
勿来工業高等学校建築科ＯＢ会
事務局だより

発行所
いわき市植田町本町三丁目8-13
発行者
勿来工業高等学校
建築科ＯＢ会
会長　櫛田　常雄
TEL　0246(63)7489
(事務局)

おまちかね　勿来工業高等学校建築科ＯＢ会発足



熱のこもった設立総会
初代会長に櫛田常雄氏（第一回卒）

副会長　本田　傳

平成五年七月十日(土)午後四時から、ウェディングプラザ新瀧において、勿来工業高等学校建築科ＯＢ会の設立総会が、二百六名の参加により盛大に開催されました。

設立総会の開会が宣言されたあと議事に入り、第一号議案では、会の名称、目的並びに事業内容、役員などＯＢ会会則案の説明があり、名称は「勿来工業高等学校ＯＢ会」に、初代会長には第一回卒業生の櫛田常雄氏が就任するなど、満場一致で承認されました。

続く第二号議案では、平成五年度の事業計画が説明され、会員名簿の発行が決まりました。

また第三号議案では、平成五年収支予算の説明があり、これも賛成多数で承認されました。

各議案とも活発な意見が出され、熱のこもった総会となりました。

今後ともＯＢ会を発展させていきますので、ご協力、ご支援をよろしくお願いします。

ＯＢ会について

ＯＢ会会長　櫛田　常雄

その後お変わりなく、日々お健やかにお過ごしの事と存じます。

日頃はＯＢ会の活動に対し何かと御指導、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年はＯＢ会運営の基礎となる会員名簿の発行、また、東京支部の設立と、ＯＢ会も二年目を迎え小さくではありますが着実に一歩一歩前進しております。

本年度事業計画としては、第一回の事務局だよりの発行を行ない、更に、いわき支部・仙台支部の設立準備を進めて参りたいと考えております。また、在校生の育成事業として設計展を行なう準備を進めているところであります。

現在ＯＢ会の会員は千二百余名でありますが今後益々増加していくことになりますので、健全な会の運営を行なうためには、会運営の多極分散を図り各支部単位で活動を行なうことが重要であると考えており今後も支部設立に積極的に取り組んで行く考えであります。

ＯＢ会は卒業生相互の親睦を計ることを目的とした会でありますが、年齢的には年長組と年少組の年齢差は三十年、職業についても多彩な方々の集団であり、いわば千二百余名の方々の蓄積された知恵と経験を有する頭脳集団でもあります。

近年の社会は高度化、多様化が要求される時代であり、仕事をする上で人との出会い、情報のネットワークは欠かせないものであり、このＯＢ会を先輩、後輩の出会い、語らいの場として交流を深めることが大切であり、多くの方々が行事に参加され意見を提案して下さることがＯＢ会発展につながるものと考えておりますので機会あるごとに参加して下さるようお願い致します。会員の皆様の益々の御活躍をお祈りいたします。

盛り上がった設立記念式典

副会長　酒井　晃

設立総会終了後、同新瀧の別室において設立記念式典が行われました。

総会で選出された櫛田会長の挨拶の後、長谷沼校長や成田同窓会長をはじめ多数の来賓の方々から祝辞をいただきました。

数年ぶりに会う人が大部分で、学生時代の思い出やお互いの仕事の話などで盛り上がり、なごやかな雰囲気の中おひらきとなりました。

ご協力いただきました役員の皆さんはじめ、ご出席いただきました皆さん、ありがとうございました。

建築科三年の進路状況

担任　菅家　慶広

今年度の建築科三年は男子二十九名、女子十名、計三十九名のクラスです。現在は進学希望者の一部を除きほぼ進路は決定しています。例年からみると就職希望者は少く、今までのところ十八名が内定を頂いておりほとんどが地元企業です。そのうち建設系以外は二名です。今年は学校全体では求人数が少く、就職に関しては大変厳しい状況でした。しかし建築科については、特に地元企業の御配慮で例年と変わらぬ求人を頂きました。また当初不安だった女子の就職についても全員が希望の企業に落ちついたので安心しているところです。おかげさまで担任としてはそれほど苦労しなかったように思います。

他は公務員が三名、四年制大学希望が六名、各種・専門学校が十二名となっています。将来いろいろな場でお世話になると思います。どうぞよろしくお願い致します。

あいさつ

建築科　矢吹二良

同窓生のみなさん師走も近づき何かと忙しい毎日をお過ごしのことと思います。今でも思い出すが昨年七月十日のＯＢ会発足時には会場いっぱいの二百五十名の参加者があり大変賑もしく圧倒されました。今年も幹事の努力によりまして百五十名参加ありましてＯＢ会も順調な滑り出しと言うところです。本校建築科は浜通り唯一の建築科でありますのでいわきの建築を良くするのは同窓生の一人一人にかかっています。一つ一つの建築にベストつくす精神をいつでも忘れることなく大事にして頑張っていただきたいとおもいます。

同窓会館も設計から工事まで建築科の同窓生の皆さんのご協力によりすばらしい会館が出来上がりました。さっそく合宿等に使用させていただき大変好評を博しています。あいてる間なく連続の使用です。ありがとうございました。

実習棟は改築時期になりましたので三年後に三階建一棟、平屋建一棟が建つ予定です。皆さんの思い出の学校も変ってきます。

同窓生のみなさん、たまには学校を訪問してください。そして懐かしい学校を眺めながら生徒を叱咤激励していただければ幸いです。ＯＢ会のますますの発展と今後のご活躍を期待します。

挨拶

東京支部長　草野　智

私は本年より東京支部の会長を任されました、二回生の草野です。それ迄は東京建友会と言う名称で三年前から一回生の赤津さんが初代会長を務めておられました。本年三月総会で本部との協議の結果名称をＯＢ会東京支部となり組織が一段と充実され先日皆様のお手元に発刊された会員名簿の通りで御座居ます。

さて現在支部は役員他五・六名で自宅で二ヶ月一・二回会合を持ち目的に合せて食事したり見学、イベント等を行い、人的交流を深めＯＢ会の目的の一つであるところの親睦、啓蒙を計っております。事務局は(株)ライト工業の渡辺様にお願いして練馬区豊玉上二―二七―六一電話〇三―三五五七―三三五三になっております。特に在京で職住を構えられる皆様、一度ご連絡をお待ち致しております。特に十五回生後の若い方々の参加をお願いし、会の充実を計って行きたいと考えております。

末筆乍ら会員各位の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

以上

勿工建築科ＯＢ会主催の卒業設計コンペについて!!

書記　土田　利夫

現在約千二百余名の会員を有する当会は、地元ならびに、各地方においても、はなばなしい活躍をしております。

この全会員で在校生に対してＯＢ会の事業の一環として何か出来ないかと幹事会、役員会を何度も催してまいりました。

そこで第八回、九回生までが参加していた県の工高建築科に依る“卒業設計”という三年生にとって、とても大切な課題があったことを記憶しており同級会などで、私達以降は消滅してしまったのは非常に残念であるの声が多く聴かれＯＢ会先輩達との話しの中でも話題の中心にもなる意見でした。

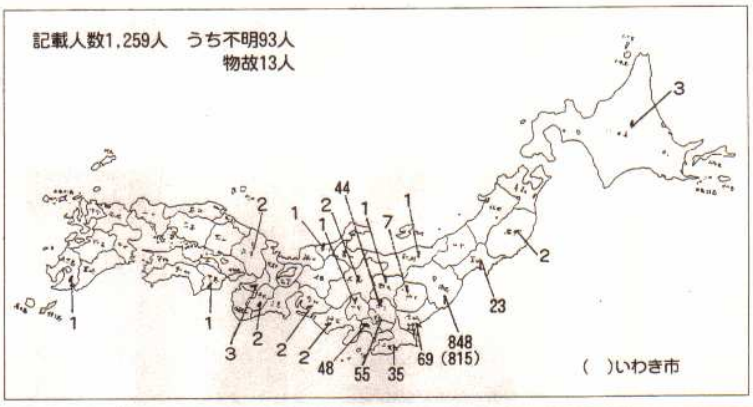
学校側と何度かの話し合いの中で、授業の一環として卒業コンペを再現出来ないかとお聴きしたところ、平成七年度であれば実施可能であるとの返事があり、是非ＯＢ会主催の元、在校生に建築のすばらしさを表現出来、設計製図の質の向上を目的とした、卒業コンペを実現出来ることは我々ＯＢ会全員の喜びであると思います。

この事業については学校側の理解が得られればＯＢ会の毎年度の事業として定着させたいと思います。

又コンペ作品数点とＯＢ会会員の作品等を集め共同で展示会を催す事も近い将来考えております。会員の皆様におかれましても今後のさらなる活躍を期待してペンを置きます。

会員分布状況

この度、事務局が調査し、卒業生の全国分布を集計しましたら、次の表のようになりました。その結果、不明者が93人となっており一人でも住所を確認したく、日々、色々同期生の連絡をお願いしています。幹事会の方々に連絡をしたり、また同級会の時でもよいですから、名簿もれの方の情報をいただければ、ありがたいと存じます。

分布は、いわき市内が一番多く、茨城、東京、神奈川の順序になっております。

支部もいわき支部と東京支部があり、交流も深めておりますので、支部を発足したい場合は、本部事務局と相談して下さい。今後共、皆様の御健勝を祈っております。